

## 令和6年度学校経営計画

### 1 学校教育目標

自立と社会参加を目指し、明朗で協調性に富む、健康な児童生徒を育成する。

校訓 「明るく 仲よく 元気よく」

### 2 学校の特徴

- ・ 知的障害や肢体不自由のある児童生徒を対象にした新川地域唯一の特別支援学校である。児童生徒の約8割は自宅から通学しているが、その他は隣接する児童福祉施設から通学している。
- ・ 日常の教育活動は小学部・中学部・高等部別に行っている。その他、通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対して、教員が家庭を訪問して行う訪問教育を実施している。
- ・ 医療的ケアを必要とする児童生徒に対しては、教育活動への適切な支援を行うために学校看護職員を配置し、教職員と連携して支援を行っている。
- ・ 将来の生活に向けて児童生徒の自立と社会参加を目指し、個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づいて一人一人の可能性を伸ばす指導を行っている。
- ・ 学部や学年の行事を通して社会的な体験を積むとともに、近隣の幼稚園、認定こども園、保育所、小学校、中学校、高等学校及び地域の方々と交流する機会を大切にしている。
- ・ 学校と家庭、隣接する児童福祉施設との連絡を密にして、教育上の悩みや疑問が生じたときには随時相談に応じることができるようにしている。
- ・ 関係機関等と連携して早期からの教育相談を実施するとともに、小学校・中学校・高等学校への支援等では、特別支援教育コーディネーターを中心にして新川地域における特別支援教育のセンター的役割の充実を図るよう努めている。
- ・ 校内実習や就業体験、関係機関等との連携を通して、高等部卒業後の豊かな生活を目指した職業教育や進路支援に努めている。

### 3 学校の現状と課題

#### (1) 現状

- ・ 児童生徒の障害の重度・重複化、多様化が進んでおり、一層の個に応じた指導・支援が求められている。また、児童生徒自身が「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように、互見授業や授業研究等を行っている。
- ・ 学校防災に関する計画の策定等を通して、災害時等に迅速に対応できるように、様々な場面を想定して訓練を行っているが、河川氾濫や津波に対してさらに危機管理意識を高める必要がある。
- ・ 実態に応じ医療との連携を密にするとともに、一人一人が健康に安心して学校生活を送ることができるよう環境整備を行う必要がある。
- ・ 学校、家庭、隣接する施設、関係機関等と個別の教育支援計画等を用いてさらに連携を図り、早期からのキャリア教育を推進する必要がある。
- ・ 新川地域の小・中・高等学校等からの特別支援教育に関する相談に、積極的に支援している。
- ・ 児童生徒に一人1台ずつタブレット端末が配備され、教育的ニーズに応じてICT機器等を活用するようにしている。教職員の業務を効率化やペーパーレス化を推進させるためにもスキルアップやICT機器等の活用を推進する必要がある。

#### (2) 課題

- ・ 自立と社会参加を目指し、障害の程度や発達段階等に応じた指導の充実に係る教師の専門性の向上
- ・ 個性を尊重し、健康で安全に過ごすことのできる活力ある学校生活の推進
- ・ 家庭や隣接する児童福祉施設等を含めた関係機関とのさらなる連携
- ・ 多様なニーズに応じた早期からのキャリア教育の充実
- ・ 業務の目的を意識し、やりがいや楽しさを感じて遂行するための学部間や分掌間の連携強化
- ・ ICT機器等を活用した児童生徒が主体的に取り組む学習指導の充実及び教職員の業務改善

#### 4 学校教育計画

項 目	目標・方針及び計画	
<p>1</p> <p>学習活動</p> <p><b>重点1</b></p> <p>小 中 高 研修</p>	<p>目 標</p>	<p>&lt;小学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が主体的に取り組む姿がみられる授業の充実を図る。</li> </ul> <p>&lt;中学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>集団の中で自分の役割を知り、生徒の自立につながる学習指導の充実を図る。</b></li> </ul> <p>&lt;高等部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割に気付き、卒業後の生活に向けて主体的に取り組むための学習指導の充実を図る。</li> </ul> <p>&lt;研修部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現（教員の日常的な学び合いや授業力の向上）を図る。</li> </ul>
<p>2</p> <p>学校生活</p> <p>生徒指導 (生徒指導関係) 保健</p>	<p>目 標</p>	<p>&lt;生徒指導部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における安全指導の充実</li> </ul> <p>&lt;保健部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>校内環境整備・環境美化への意識の向上を図る。</b></li> </ul>
	<p>計 画</p>	<p>&lt;小学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくりの話合いの充実を図り、児童一人一人の主体的な姿がみられる授業の計画、実践、評価、改善に取り組む（個別の指導計画の評価も含む）。</li> <li>・授業についての意見集約や改善等の共通理解を3回以上行い、授業の充実を図る。</li> <li>・学年会等で、授業や支援方法等について困っていることや悩んでいることを相談できる時間を設けるとともに、その内容を、学部会等で学部全体に共有する。</li> </ul> <p>&lt;中学部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画の目標・手立てを前期は5月中に、後期は10月中に作成し、それを基に学年会で実態に応じた内容になっているかを確認したり、授業の仕方や教材のアイデア等について相談したりする。</li> <li>・授業について困っていることや気付いたこと等を相談する「ご意見ポスト」をOneDriveに設けて気軽に投稿できるようにして教員間で共有するとともに、学年で話し合う。</li> <li>・授業改善や生徒の変容につながったかについてアンケートを実施する。</li> </ul> <p>&lt;高等部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部会、学部研等を活用し、生徒の良い姿（役割に気付き主体的に取り組んでいる姿）を話題に取り上げ、高等部の目指す生徒の姿（役割に気付き主体的に取り組む生徒）を育てるための授業や支援の在り方等に関して、意見交換をする。</li> <li>・意見交換等を基に、生徒が自分の役割に気付き主体的に取り組むための授業づくり、授業改善を行う。</li> </ul> <p>&lt;研修部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業づくり・授業改善の共通理解、推進のための研修会及び取組を4回以上企画し、昨年度の課題を踏まえて全体研修会、授業研究会、互見授業参観週間、意見交換会等を実施する。</li> <li>・学部等の研修会や授業において85%以上のICT活用を目指し、情報図書部と連携して関連する研修会を2回以上企画・実施する。</li> </ul>

3	進路支援	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が、自らの学習や生活を振り返ったり、自己評価を行ったりすることで主体的な学びや自己の生き方、進路選択につなげることができるよう支援する。</li> </ul>
	進路指導	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートについて教員で共通理解を図る。</li> <li>・各学部でキャリアパスポートの内容（学校生活、行事、学習活動等）について検討し、一冊のファイルに書類（記録等）を蓄積し、児童生徒自身が教材として活用できるようにする。</li> <li>・教員が児童生徒の実態に応じて対話的に関わることにより、児童生徒が新たなことに気付き、進路選択や自己の生き方につなげようとする力を育てる。</li> </ul>
4	特別活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒会執行部活動（全校集会）の活性化を図る。</li> </ul>
	生徒指導 (特別活動関係)	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒会執行部が中心となって全校集会を行う。</li> <li>・児童生徒（教職員）を対象に全校集会に関するアンケートを実施する。</li> </ul>
5	その他 教育相談 教務部 総務 情報図書 (情報関係) (図書関係)	目標	<p>&lt;教育相談部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育相談部だより」の発行と内容の充実をとおして、校内、地域への理解啓発、周知を図る。</li> </ul> <p>&lt;教務部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画を活用し、児童生徒の自立と社会参加を目指した指導の充実を図る。</li> </ul> <p>&lt;総務部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA行事の充実及び、IT化による業務の効率化を図る。</li> </ul> <p>&lt;情報図書部：情報関係&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員のICT活用能力の向上を図る。</li> <li>・校内のICT機器の整理・活用を図る。</li> </ul> <p>&lt;情報図書部：図書関係&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書環境の充実を図る。</li> </ul>
		計画	<p>&lt;教育相談部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育相談部だより」を年4回発行する。校内の自立活動の事例や教材・教具等を収集し、コーディネーター間で整理し、校内、地域への周知としてホームページに掲載する。年2回校内や訪問先の学校等へアンケートを実施し、内容充実に努める。</li> </ul> <p>&lt;教務部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用の仕方について意見を収集したり、共通理解を図ったりする。</li> <li>・3観点が含まれた目標になっているか見直す。</li> </ul> <p>&lt;総務部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA役員会や各専門部での話し合いを基に、PTA行事の実施時期や内容等を見直す。学校からもアイデアや情報等を積極的に提供する。</li> <li>・各PTA行事等での、役員との連絡調整のメール化や、参加確認や実施後のアンケート等の意見収集におけるFormsの活用等のIT化をより進める。</li> <li>・分掌業務全般においても、各学校行事の招待状送付業務を一部メールでの送付にするなどの見直しを進める。実施に向けて、関係する分掌部部長と協力して進める。</li> </ul> <p>&lt;情報図書部：情報関係&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒の学校生活におけるよりよいICT活用を目指し、研修部と連携して関連する研修会を企画・実施する。</li> <li>・分掌、学部、教科等部会等で分散して管理されているICT機器を整理する。</li> </ul> <p>&lt;情報図書部：図書関係&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書管理システムを導入する。</li> <li>・学校図書館司書と協力し、ブックトーク等の書籍に触れる企画を計画的に行う。</li> </ul>

## 5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

令和6年度 にかわ総合支援学校アクションプラン - 1 -		
重点項目	学習活動（中学部）	
重点課題	集団の中で自分の役割を知り、生徒の自立につながる学習指導の充実	
現 状	<p>「主体的・対話的で深い学び」を通して※「資質・能力（三つの柱）」を育成する授業づくりが求められている。これらの「資質・能力」は、自立を目指す生徒の育成に深くつながるため、授業づくりの重要性を感じている。中学部は、教師が一人で授業を行ったり、若手の教師同士で授業を受け持ちたりする場合も多くあるが、日々の業務や授業の準備に追われ、教師間で授業について相談する機会が少ない。そこで、授業づくりについて気軽に相談できる機会を設けたり、教師間で互いにどんな授業をしているのかを知る機会を設けたりすることで、生徒の自立につながる学習指導の充実につなげたいと考える。</p> <p>※知識及び技能（何を理解しているか、何ができるか）、思考力・判断力・表現力等（理解していることやできることをどう使うか）、学びに向かう力、人間性等（どのように社会と関わり、よりよい人生を送るか）</p>	
達成目標	個別の指導計画の内容確認や授業の進捗状況等を話し合うための学年会を前期、後期共に行う。	
	<table border="1"> <tr> <td>前期：2回以上、後期：2回以上</td> <td>授業づくりに関する相談等を重ねたことで授業改善・生徒の変容につながったと答えた教員の数 80%以上</td> </tr> </table>	前期：2回以上、後期：2回以上
前期：2回以上、後期：2回以上	授業づくりに関する相談等を重ねたことで授業改善・生徒の変容につながったと答えた教員の数 80%以上	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別の指導計画の目標・手立てを前期は5月中に、後期は10月中に作成し、それを基に学年会で実態に応じた内容になっているかを確認したり、授業の仕方や教材のアイデア等について相談したりする。</li> <li>授業について困っていることや気付いたこと等を相談する「ご意見ポスト」をOneDriveに設けて気軽に投稿できるようにして教員間で共有し、時間が取れるタイミングで学年で話し合う。</li> <li>授業改善や生徒の変容につながったかについてアンケートを実施する。</li> </ul>	

重点項目	学校生活（保健部）	
重点課題	児童生徒の校舎内外等生活環境の整備・美化への意識の向上	
現 状	<p>児童生徒は、日頃から授業後に片付けを行ったり、日常生活の指導や作業学習等で教室や特別教室等の清掃を行ったりしており、学校をきれいに保つことに親しみをもっている児童生徒が多い。一層継続的に美化意識を向上させることは、今後の社会的自立にもつながると考える。</p> <p>そこで、小学部低学年児童から高等部生徒まで、実態も様々な児童生徒たちであるが、「私たちのすてきな学校」についてみんなで考え、児童生徒同士が協力し合いながら取り組む実践をしたい。環境美化委員会の児童生徒を中心に、「学校びかびか運動」を企画し全校で行ったり、児童生徒自身が、チェック表等を活用して取組や環境の整備・美化状況を把握し、改善しながら取り組んだりできるようにしていきたい。</p>	
達成目標	「学校びかびか運動」に企画、改善しながら取り組んだ回数	学校行事前に環境美化活動に取り組んだ回数
	年3回以上	年2回以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化委員会が中心となり、「すてきな学校」について全校児童生徒で考える機会としてアンケートを作成、実施、集計を行う。集計結果から「すてきな学校」にするために児童生徒ができることなどを整理しまとめ、「学校びかびか運動」や学校行事前の環境美化活動等での活動内容を校内放送等で発表する。</li> <li>・「学校びかびか運動」を学期に1回（7月、11月、2月）企画実施し、学部・学年・学級のグループで校内の環境整備を行ったり、環境美化への意識が高まる活動「校内清掃や球根植え等」を行ったりする。チェック表を活用して取組状況を把握し、次回に向けて児童生徒と教師とが一緒に考え、改善を図りながら実施する。実施後、取組状況等を環境美化委員会による放送等で児童生徒に報告し周知する。</li> <li>・全校行事の運動会や学習発表会前に、環境美化委員会の呼掛けでグラウンドを含めた校舎内外の除草、ごみ(落ち葉等も含む)拾い等を行う。</li> </ul>	

重点項目	特別活動（生徒指導部）	
重点課題	児童生徒会執行部活動（全校集会）の活性化を図る	
現 状	<p>本校の児童生徒会執行部は、朝のあいさつ運動（さわやか運動を含む）や全校集会（前期及び後期児童生徒会役員選挙立会演説会、退任式・任命式を含む）を主な活動とし、毎週火曜日の児童生徒会執行部による委員会活動で話合いや計画の立案を行っている。</p> <p>令和5年度はコロナ禍前と同様に、体育館に全校児童生徒が集まったの全校集会を10回行った。これまでは執行部の発表や給食集会等、執行部以外の児童生徒は発表を見たり聞いたりしている集が多かった。9月から全校集会の内容を見直し、学部交流会やダンス大会等、全校児童生徒が参加する集会を行ったところ、楽しんで参加する児童生徒の姿がみられた。そこで、今年度は全校児童生徒が主体的に集会に参加できるよう、内容の見直しや検討をすることで、学部間で活発に交流し、全校集会への興味・関心を高めたい。また、児童生徒会執行部が中心となって計画の立案や集会の進行を行うことで、児童生徒会執行部活動の活性化を図りたい。</p>	
達成目標	児童生徒会執行部が中心となって企画し、実施した全校集会の回数	全校集会に参加することが楽しみになったと答えた児童生徒（教職員）の割合
	年2回以上	80%以上
方 策	<p>○児童生徒会執行部が中心となって全校集会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒から意見を募り、意見を基に内容を検討し、全校集会の充実を図る。</li> <li>・活動計画を立て、全校集会の進行や運営に当たる。</li> </ul> <p>○児童生徒（教職員）を対象に全校集会に関するアンケートを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒を対象に、全校集会で取り組みたい活動内容を聞く。</li> <li>・児童生徒（教職員）を対象に、全校集会の感想や改善点について聞く。</li> </ul>	